

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

南区は75歳以上の人口割合が横浜市内でも比較的高い地域であり、北永田地区、永田みなみ台地区、南永田山王台地区も高齢者の多い地域になる。各地区のほとんどが住宅地であり、長く定住されている方が多く、住民同士の繋がりの強い地域性がある。また、地域の歴史や技能を地域全体で様々な機会を通して受け継いでいる風土もある。その一方、核家族化が進み、独り暮らし高齢者が増えてきている。各地区ともに担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、外国人居住者も増えてきており、生活環境が変化してきている。

今後の方向性として高齢化が進んでいることから、地域ケア会議等で地域課題の解決を図り、認知症サポーター養成講座を継続して開催し、安心して住むことができる環境づくりを構築する。また、担い手不足が深刻なため、地域に向けてボランティア活動を紹介し、新たな担い手を発掘し活動に繋げていく。外国人居住者に対しては、気軽に話し合える場を提供するためサロンの開設を検討する。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	総合相談では相談者に寄り添い課題解決に取り組む。ケアプラザでの相談だけでなく、自主事業・会議、地域の会合等さまざまな場面で相談を受け付け、状況に応じた支援を行う。また、地域にケアプラザの機能を知ってもらうことで活用を促す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の福祉保健団体等と連携し、情報共有や地域のニーズを把握し、事業を共催するなどネットワークづくりに取り組む。また、区役所や社会福祉協議会との定例会議、民児協や連合町内会を通じて情報を共有する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネ勉強会『やまさかネット』をケアプラザの施設協力医と協働して開催する。医療関係者と介護事業者との連携が図れ、利用者中心とした支援が円滑に行われるように関係を構築していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	南区社会福祉協議会ボランティアセンターと連携を図りながら、ボランティアの育成と同時に、地域の中で負担のない見守り活動や、個別支援を支える地域ボランティア育成を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトや地区社協と共催し、学校や自治会町内会などに認知症についての正しい知識や対応について普及活動を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和6年度は地域のイベントなどが多く開催され、地域活動が活発になりました。それに比例するように総合相談件数が増えました。『永田支えあい祭り』は10月に開催し多くの福祉保健団体やボランティアに協力していただきました。認知症サポーター養成講座ではキャラバンメイトと協働し小学校や自治会で開催することができました。民児協や地区社協の会合に参加し多くの情報を共有することができました。ケアマネ勉強会『やまさかネット』では協力医との勉強会のほか民生委員との交流会を開催することが出来ました。

区からのコメント

地域活動の活発化と相談件数の増加の中で、地域に積極的に向きニーズの把握や、個別相談の傾向の分析を行い、地域の特性やニーズに沿った取組を行っていただきました。また『永田支えあい祭り』は、多世代の地域の方と一緒に作る祭りとなりました。引き続き、地域の方と共に、安心して暮らせるまちづくりの取組をお願いします。

個別ケース地域ケア会議等でとらえた地域課題から、地域向けの「心づもり講座」の開催につなげるなど、地域課題解決に向けた取組を着実に進めています。今後も地域の支援者とも繋がりを深めながら、地域から信頼されるケアプラザとしての役割を期待しています。

令和6年度永田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	包括支援センターが要介護者等から相談を受け、委託先となる居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供をおこない利用者や家族が自身の考えのもと選んでいただけるよう支援する。具体的には、『ハートページ』で情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整える。また、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックする。	事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努める。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備える。「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努める。 事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づける。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧する。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行う。 法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努める。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努める。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行う。USBメモリは原則使用せず、特別に必要と認められる場合を除き(出前講座など)USBメモリの持ち出しをしないように徹底する。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、利用者の身体の状況や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立支援を促す。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月230件前後の担当を行っている。このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託する。	ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状況や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援する。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を要介護者を35名とする。また、包括支援センターと協働し、要支援の利用者8名程度担当する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行う。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応する。 管理者 1名 保健師(看護師) 1名 主任ケアマネジャー 1名 社会福祉士 1名	管理者 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤) 介護支援専門員 2名(常勤兼務1名)
契約者数	第1号介護予防支援事業(ケアマネジメント)包括分 35件 委託分 1,352件 介護予防支援 包括分 31件 委託分 1,688件	要介護 847件 予防受託件数 257件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	通所介護では、「地域に必要とされるデイサービス」を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指す。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践する。体操やレクリエーションを通じた機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援する。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供する。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施する。 安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指す。		
実施体制	【実施日数】週 7 日 【提供時間】9:30 ~ 16:30 【定員】40名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 食費負担 750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 3名(常勤兼務3名) 看護職員 6名(非常勤兼務6名) 機能回復訓練指導員 6名(非常勤兼務5名) 介護職員 16名(常勤兼務3名、非常勤兼務13名) 運転手 6名 事務員 1名(常勤兼務1名)		
契約者数等	【延べ利用者数】9,390名 【契約者数】85名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,198,000	415,172	17,613,172	17,706,256	△ 93,084	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	87,451	△ 87,451	
雑入	64,000	0	64,000	195,602	△ 131,602	
印刷代	32,000		32,000		32,000	
自動販売機手数料	26,000		26,000	23,562	2,438	自販機販売手数料、目的外使用料
その他	6,000		6,000	172,040	△ 166,040	経常経費寄附金収入
その他			0		0	受入研修費収入、サービ区分間繰入金収入
収入合計	17,262,000	415,172	17,677,172	17,989,309	△ 312,137	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,507,000	0	9,507,000	11,616,944	△ 2,109,944	
本俸	8,571,000		8,571,000		8,571,000	
社会保険料	813,000		813,000		813,000	
手当計			0		0	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	83,000		83,000		83,000	
その他			0	11,616,944	△ 11,616,944	
事務費	587,120	0	587,120	878,418	△ 291,298	
旅費	1,000		1,000	5,184	△ 4,184	
消耗品費	153,000		153,000	252,936	△ 99,936	日用品、消耗品、事務用品
会議随費			0	36,027	△ 36,027	会議飲料代
印刷製本費			0	43,581	△ 43,581	名刺、封筒
通信費	187,000		187,000	249,283	△ 62,283	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	11,000		11,000	12,044	△ 1,044	
職員等研修費	10,000		10,000	3,000	7,000	研修会費
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	83,000		83,000	38,483	44,517	複合機、AED
手数料			0	5,663	△ 5,663	Kintoneライセンス、自転車登録料
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	
その他	105,000		105,000	211,097	△ 106,097	災害対策、書類処分、粗大ゴミ処理、加圧ターボ、システム保守等、広報費、渉外費、諸会費
事業費	238,000	0	238,000	279,923	△ 41,923	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	238,000		238,000	279,923	△ 41,923	指定管理事業費、保険料
その他			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	170,500	△ 170,500	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）			0	170,500	△ 170,500	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	5,115,000	0	5,115,000	6,190,145	△ 1,075,145	
光熱水費	3,400,000		3,400,000		3,400,000	
清掃費	227,000		227,000		227,000	床・窓ガラス・受水槽・排水管
機械警備費	70,000		70,000		70,000	
設備保全費	1,132,000	0	1,132,000	0	1,132,000	
空調衛生設備保守	414,000		414,000		414,000	
消防設備保守	94,000		94,000		94,000	
電気設備保守	443,000		443,000		443,000	電気設備・ポンプ・昇降機・自動ドア
害虫駆除清掃保守	38,000		38,000		38,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	143,000		143,000		143,000	設備総合・節水器リース・植栽管理
共益費			0		0	
その他	286,000		286,000	6,190,145	△ 5,904,145	廃棄物処理料
修繕費	474,000		474,000	445,383	28,617	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	15,921,120	0	15,921,120	19,581,293	△ 3,660,173	
差引	1,340,880	415,172	1,756,052	△ 1,591,984	3,348,036	

自主事業費 収入	0	0	0	87,451	△ 87,451	
自主事業費 支出	238,000	0	238,000	279,923	△ 41,923	
自主事業 収支	△ 238,000	0	△ 238,000	△ 192,472	△ 45,528	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	26,000	0	26,000	23,562	2,438	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	4,880	0	4,880	2,442	2,438	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和6年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）〈包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ〉**

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,127,000	422,268	30,549,268	30,107,021	442,247	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,688,000	5,799,175	11,487,175	5,799,175	5,688,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	0	0	0	12,000	△ 12,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	12,000	△ 12,000	受入研修費収入、サービス区分間繰入金収入
その他			0	0	0	
収入合計	35,969,000	6,221,443	42,190,443	36,072,196	6,118,247	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,206,000	0	31,206,000	33,710,786	△2,504,786	
本俸	26,637,000		26,637,000		26,637,000	
社会保険料	4,092,000		4,092,000		4,092,000	
手当計			0		0	
健康診断費	89,000		89,000		89,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	388,000		388,000		388,000	
その他			0	33,710,786	#####	
事務費	1,490,000	0	1,490,000	1,486,795	3,205	
旅費	9,000		9,000	25,337	△ 16,337	
消耗品費	271,000		271,000	495,650	△ 224,650	消耗品、事務用品
会議随時費			0	4,018	△ 4,018	会議飲料代
印刷製本費	3,000		3,000	7,715	△ 4,715	名刺、封筒
通信費	353,000		353,000	301,710	51,290	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	電動自転車
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	22,000		22,000	24,088	△ 2,088	
職員等研修費	40,000		40,000	500	39,500	研修会費
振込手数料	12,000		12,000	0	12,000	
リース料	46,000		46,000	76,963	△ 30,963	複合機、AED
手数料			0	12,023	△ 12,023	Kintoneライセンス、自転車登録料
地域協力費	20,000		20,000	0	20,000	
その他	714,000		714,000	538,791	175,209	災害対策、書類処分、租入ゴミ処理、加算料、 ゴミ回収等、印刷費、令和6年度目録印刷
事業費	917,000	0	917,000	418,420	498,580	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	65,000		65,000	7,611	57,389	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	62,000		62,000	154,000	△ 92,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	4,809	△ 4,809	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	160,000		160,000	0	160,000	
その他			0	0	0	
管理費	1,430,000	0	1,430,000	1,645,472	△ 215,472	
光熱水費	880,000		880,000		880,000	
清掃費	60,000		60,000		60,000	床・窓ガラス・受水槽・排水管
機械警備費	18,000		18,000		18,000	
設備保全費	396,000	0	396,000	0	396,000	
空調衛生設備保守	110,000		110,000		110,000	
消防設備保守	25,000		25,000		25,000	
電気設備保守	118,000		118,000		118,000	電気設備・ポンプ・昇降機・自動ドア
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	133,000		133,000		133,000	設備総合・節水器リース・植栽管理
共益費			0		0	
その他	76,000		76,000	1,645,472	△ 1,569,472	廃棄物処理料
修繕費	126,000	0	126,000	118,387	7,613	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	サービス区分間繰入支出
支出合計	35,169,000	0	35,169,000	37,379,860	#####	
差引	800,000	6,221,443	7,021,443	△ 1,307,664	8,329,107	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	287,000	0	287,000	166,420	120,580	
自主事業 収支	△ 287,000	0	△ 287,000	△ 166,420	△ 120,580	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市永田地域ケアプラザ

令和6年4月1日~令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,008	7,645	363	7,410	9,501	-2,091	11,576	11,623	-47	106,193	102,308	3,885	5,270	4,721	549
	その他	0	0	0	0	0	0	119	267	-148	198	3,198	-3,000	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	受託収入			0			0	119	143	-24			0			0
	受取利息配当金収入			0			0			0	1	25	-24			0
	利用者等外給食費収入			0			0			0	197	194	3			0
	補助金収入			0			0		40	-40		317	-317			0
	その他			0			0		84	-84		2,662	-2,662			0
	収入合計(A)	8,008	7,645	363	7,410	9,501	-2,091	11,695	11,890	-195	106,391	105,506	885	5,270	4,721	549
支出	人件費			0			0	13,331	15,457	-2,126	68,522	66,417	2,105			0
	事務費			0			0	701	694	7	13,245	3,625	9,620			0
	事業費			0			0		6	-6	9,733	9,741	-8			0
	管理費			0			0			0	9,489	12,440	-2,951			0
	その他	6,479	7,634	-1,155	5,862	6,123	-261	100	380	-280	4,521	9,880	-5,359	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0	4,124	2,441	1,683			0
	介護予防プラン委託料	6,479	7,634	-1,155	5,862	6,123	-261			0			0			0
	固定資産取得支出			0			0	100	380	-280	200	319	-119			0
	利用者等外給食費支出			0			0			0	197	194	3			0
その他			0			0			0		6,926	-6,926			0	
支出合計(B)	6,479	7,634	-1,155	5,862	6,123	-261	14,132	16,537	-2,405	105,510	102,103	3,407	0	0	0	
収支 (A)-(B)	1,529	11	1,518	1,548	3,378	-1,830	-2,437	-4,647	2,210	881	3,403	-2,522	5,270	4,721	549	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	永田支えあい祭り	H15年	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりのため	5: 地域	7	実施内容: 地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場として、ブース出店(食べ物、手芸、健康チェック、おもちゃ病院など)、ブラスバンド演奏・タンベル体操・認知症サポーター養成講座などをおこなう。祭りの運営については、実行委員会形式ですすめ、地域を主体におこなう。 実施回数: 1回 実施時期: 7月または11月	1	500
2	子育てサロンたんぽぽ	H14年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	未就園児とその保護者を対象にしたサロン。	3: 養育者及び乳幼児	5	ボランティアが子供達を見守り、自由に遊べるスペースを提供。また、月に1度、45分程度のお楽しみタイムを設ける。お楽しみタイムとは、水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びを楽しむ。近隣の永田保育園やさくらザウルスから講師の方に来て頂いて、協力してもらった場合もある。 実施回数: 36回 実施時期: 毎月第1木曜日、第3日曜日、第4水曜日	35	346
3	永田囲碁・将棋クラブ	H16年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: 地域住民の交流	5: 地域	1	実施内容: 大人向けの囲碁将棋クラブ 実施回数: 24回 実施時期: 第2・第3土曜日	24	106
4	親子料理教室	H17年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることが出来るよう支援する。	5: 地域		実施内容: 未就学児の親子を対象に料理の楽しみを体験し、食の大切さを学ぶ。 実施回数: 2回 実施時期: 6月、11月を予定	1	17
5	お楽しみ講座	H15年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: 誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とする。	5: 地域		実施回数: 5回 実施時期: 5月、7月、9月、11月、1月	1	11
6	育児講座	H19年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: 地域の子育て支援	4: 子ども・青少年	3	実施内容: 健康相談、離乳食、他 実施回数: 2回 実施時期: 7月、2月	1	17
7	障がい児支援企画「カフェ・スマイル」	H22年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: 知的障害がある中高生および成人の居場所作り。 対象者: 南区に在住の知的に障がいがある中高生および成人	2: 障害児・者	5	活動内容: ケアプラザで、プログラムは設けず、出入り自由に、好きな時に来て、過ごせる時間を過ごす。 実施回数: 1回 実施時期: 12月	0	0
8	ボランティア交流会	H15年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。	5: 地域		実施内容: 活動しているボランティアとの意見交換会。 実施回数: 2回 実施時期: 7月、3月を予定	2	19
9	永田deはくむ わくわく教室	H29年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	実施目的: 赤ちゃん学級(1歳未満の第1子など)の対象とならない、あるいは卒業した保護者を対象に、(保育園入園前の)保護者同士の交流と地域とのつながりづくりを目指す。	4: 子ども・青少年	3	実施内容: 講義や実習を通じ、親と子が楽しく学び、集う講座を開催する。保育付講座とし、前述の保育ボランティア養成講座を受講した方の活動の場としてスタートさせる。また、運営については、3地区の子育てサロンの担い手にも関わってもらい、お互いのサロンの情報交換の場としても機能させることが望ましい。 実施時期: 8回 実施時期: 10月～3月	8	221
10	貸館利用団体交流会	H29年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	実施目的: ケアプラザを利用する各団体が一堂に会し、情報共有を図るとともに、活動を促進し、地域福祉保健活動を推進する。	5: 地域	7	実施内容: 各団体会員に参加を促し、団体活動のPRや意見交換をおこなう。 年1回 実施時期: 未定	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	子ども青少年向け講座	H30年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	実施目的：小学校PTAや学校地域連携コーディネーターと連携を図り、地域向けに講座を開催することで、ニーズを把握するとともに、エリア内の小学校との連携を図る。	4：子ども・青少年	5	実施内容：星空観察会など 年数回 実施時期：未定	0	0
12	年末大掃除大会	H29年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	実施目的：ボランティアをする機会の提供と参加者間の交流を図る。	5：地域	7	実施内容：館内及び周辺道路の清掃と、掃除終了後に、茶話会を開催する。 実施回数：1回 実施時期：12月	1	15
13	地域の集いの場マップづくり	H28年	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	実施目的：これまで地域ケア会議や地区活動を通じて得られた情報をデジタルマップを使用し、地図上に整理する。	5：地域	1	事業内容：地域ケア会議や協議体、地域の会合において、デジタルマップの情報を提供し会議に役立てる。 実施時期：通年	0	0
14	サロンづくりの支援	H28年	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	実施目的：各地区で個人・町内会単位で「サロンを立ち上げたい」という話を聞く。サロンの立ち上げが実現できるよう、支援をする。	5：地域	1	事業内容：地域の情報をもとに課題を整理して、地域で解決できるように支援していく。 実施時期：通年	0	0
15	生活支援に関するボランティア	H28年	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	実施目的：現在、すでに地域で活動している方の参加も含め「ボランティア」とは何か、「生活支援」とは何かをイメージできるような講座を実施する。	5：地域	1	実施内容：ちょこっとボランティアのきっかけになるボランティア講座を実施する。 実施時期：3回シリーズ	0	0
16	認知症サポーター養成講座	H22年	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	実施目的：地域における認知症普及啓発を行っていく。	5：地域	1	実施内容：地区社協、町内会、各老人会との共催することで認知症の普及啓発を地域に浸透させ、認知症になっても安心して生活できる町づくりを行う。 実施時期：各地区で2～3回	1	14
17	認知症キッズサポーター養成講座	H22年	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	実施目的：子供たちに認知症のことについて正しく伝えることで、身近にいる認知症高齢者に対して優しい気持ちで向き合えるようにする。また実際に認知症高齢者に出会った場合どのような対応をしたら良いか、考えてもらう。	4：子ども・青少年	1	実施内容：永田小、永田台小の5年生、永田中の3年生を対象とする講座の開催 実施時期：各校1回	3	337
18	ケアマネジャー勉強会	H26年	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	実施目的：ケアマネネットワークに登録しているケアマネジャーの自主的な活動とし、ケアマネジャーのスキルアップ（医療的な知識）を目的とする。また、地域のケアマネジャー同士の顔の見える関係性を構築する。	6：事業者	7	実施内容：輪番制で担当事業所を決め、事例検討を持ち込んでもらう。疾病勉強会などケアマネ業務に関するものを勉強していく。また協力医である南永田診療所の水谷医師の協力を得てケアマネの医療に関する知識の向上につとめていく。 実施時期：月2回	15	138
19	民生委員とケアマネ交流会	H26年	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	実施目的：民生委員とケアマネジャーの交流を通して『顔の見える関係』を構築し、高齢者を支援しやすい環境を作る。	5：地域	6	実施内容：課題を共有し、各々の役割を十分に理解し地域支援に役立てる。 実施時期：年に1回	3	65
20	介護者サロン	H26年	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	実施目的：介護にかかわる地域の方を対象に介護についての悩みなどを共有し介護に役立てる。	1：高齢者	5	実施内容：ケアプラザを会場として、介護者の話を包括職員が聴き、状況に応じてアドバイスを提供する。 実施時期：2ヶ月に1回	6	11
21	フードパントリー	R4年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	実施目的：ひとり親世帯など主に「子育て中で食品支援が必要な家庭」を対象に実施。支援が必要な家庭は、孤立しが傾向にあるので、地域とつながるきっかけづくりを目指す。	3：養育者及び乳幼児	5	実施内容：ケアプラザを会場として、対象世帯へ食料品等の配布する。 実施時期：月1回	12	324
22	心づもり講座@おしゃべりサロン	R6	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	実施目的：高齢化する地区で、終活につながる講座を実施。	1：高齢者	1	実施内容：心づもり講座として3回シリーズで開催 実施回数：概ね月1回程度	3	80
23	スリーAぼたんの会	H30年	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	実施目的：地域の高齢者の参加の場としてスリーAプログラムを導入する。	1：高齢者	1	実施内容：認知症予防プログラム「スリーA」を取り入れた集いの場。 実施回数：月1回程度	14	168

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
24	永田音楽カフェ	R6年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	地域の高齢者の参加と交流の機会として実施。	1：高齢者	5	事業内容：地域のボランティアによるコーヒーの提供と真空管アンプによる音楽鑑賞会	3	73
25	地域のお出かけを考える会議 (地域交通チーム)の	R1	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	主に南永田山王台地区の高齢者が外出しやすくなるよう、協議をする場	5：地域	1	事業内容：地域の関係団体・有志と地域交通について検討する	11	142
26	健康麻雀教室	R5年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	南永田団地の新たな集いの場となるよう、URコミュニティと共催で健康麻雀教室を開催し、継続的な場所となるように支援する。	1：高齢者	5	実施内容：初心者向けの麻雀教室を連続講座として実施（6～7月） 実施時期：週1回	0	0
27	みんなでウォークラリー	R5年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	令和3年度地域ケア会議で地形の課題をポジティブにとらえる「坂道ポジティブ」の継続支援。地域の活動団体と共催し、ウォークラリーを企画。	5：地域	1, 5	永田ケアプラザ周辺のウォークラリー 実施回数：1回	1	18
28	健康に関する講話@UR	R6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	定期的に開催している体操教室での健康に関する講話	1：高齢者		実施内容：体操教室の参加者をはじめ区内で周知	1	20
29	ボールウォーキング講座	R6年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	高齢者の健康づくりのために、定期的に運動する機会を設ける。ボールウォーキングを使用することで、正しい姿勢で歩くことを身につけていただく。	1：高齢者		実施内容：貸出用ボールを使い、講師によるデモンストレーションや団地内を歩く。 実施回数：全8回	10	154
30	心づもり講座	R6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	高齢者自身や家族のこれからに向けた「心づもり」に関する講座を通じ、将来に備えるきっかけになるよう働きかける。	5：地域	1	実施内容： ①人生100年のための終活セミナー＆仕事と介護の両立支援 ②心の癒し ～ペットと末永く暮らすために～ ③認知症世界の歩き方 実施回数：3回シリーズ	3	33
31	心づもり講座@おしゃべりサロン	R6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	高齢者自身や家族のこれからに向けた「心づもり」に関する講座を通じ、将来に備えるきっかけになるよう働きかける。すでに地域に定着しているURのサロンで開催することで、主に南永田団地の住民向けに企画。	5：地域	1	実施内容： ①生前整理に関すること ②住まいとお金の管理のワンポイントアドバイス ③葬儀事情と遺影に使える写真撮影会 実施回数：3回シリーズ	3	77
32	世代間交流イベント	R7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小中学生と高齢者の交流機会を創出する。	4：子ども・青少年	1	近隣の小学校の生徒がデイサービスにて高齢者と交流を図った。	4	180